

消火訓練Ⅱ（屋内消火栓設備編①）

火災発見！



周囲の人に火災を知らせます。

初期消火

被害を最小限に



※火災の初期段階における初期消火は、非常に重要です。火災による人的被害、物的被害の軽減のため、いつでも誰でもが実施できるように日頃から訓練しておきましょう。

1号消火栓の使い方

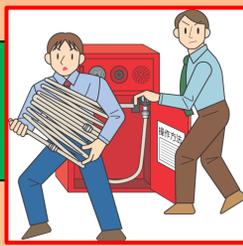
「1号消火栓による初期消火」
必ず2人以上で操作します



ポンプ起動！

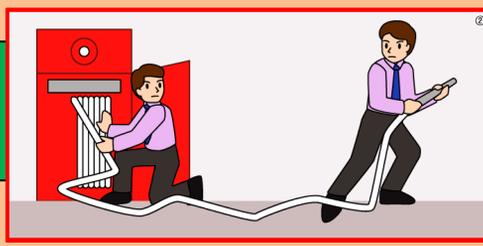
これは発信機兼用タイプです。

起動ボタンは、BOX内にある場合もあります。



ホース延長！

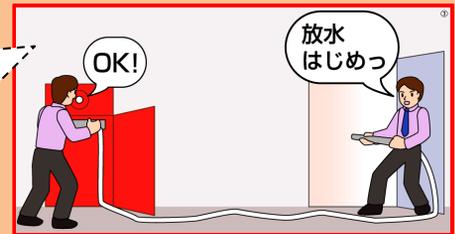
ホースは完全に出し切って、ねじれや折れ目のないように延長してください（バルブはまだ開放しません）。



放水はじめ！

態勢が整えば、「放水はじめ」の合図によりバルブを全開放します。

※ホースが折れていたり、ドアに挟まっていたりすると十分な水が出ないことがあります。



1号消火栓のポイント

- 普段から、建物の消火栓の種類、使用方法、位置を確認しておきましょう。
- 屋内消火栓設備からは「水」が出ますので、電気火災、油火災には対応していません。
- 炎や煙に放水するのではなく、燃えている「物」に対して放水しましょう。
- 1号消火栓は、基準により、有効範囲は25mとなっています。
- 放水中にノズルから手を離すと大変危険です。絶対に手を離さないようにしましょう。
- 初期消火は、必ず「避難路（逃げ道）」を確保して実施しましょう。
- 訓練は、点検業者等の立ち会える消防用設備等の点検日等に実施すると効果的です。
- 使用後は、ポンプを停止し、使用前の状態に戻して、以後の維持管理に努めてください。
- 訓練する場合は、安全を管理する担当者を決め、事故防止に努めましょう。

